

令和2年3月5日

関係各位

アマービレ ピアノ音楽教室
代表 牧野智博

レッスン再開について（新型コロナウイルス感染対策）

日頃より当教室の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、ご周知のとおり、新型コロナウイルスに関連した感染症は、全国でも感染者数が急激に増加するなど、身の回りでの感染リスクも高まっております。

このような情勢下、当教室のレッスンについて慎重に検討した結果、以下の通り対応することと致しましたのでご案内します。

尚、判断にあたりましては、一種衛生管理者の有資格者である教室責任者（牧野）が、「内閣府 新型コロナウイルス感染症対策」及び「新型コロナウイルス厚生労働省対策本部クラスター対策班が分析した内容に基づき、専門家会議において検討した結果」及び「東京都感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する情報」、その他公的機関発信の最新情報等を基礎情報としております。

【対応について】

1. アマービレ ピアノ音楽教室は、休講対応を解除し、3月8日より全教室で通常レッスンを再開します。
2. 受講については、ご家庭・ご本人の判断とし、新型コロナウイルスに起因するお休みの場合は、教室から別途案内するまで振替対応とします。止むを得ず、年間レッスン回数に満たなかった場合は、12月時点で返金対応します。
3. レッスンを再開するにあたり、以下の対応を実施します。

<全員>

- ・ **体調不良など、感染の疑いがある場合は来室受講をお控えください。**
(体温が37.5度以上の場合は、例外なく入室できません。)

<生徒>

- ・ **入室時に、必ずマスクを着用する。**
(買えないなど止むを得ない事情の方には、1人1枚限り20円でお分けします。)
- ・ ドア付近のアルコール消毒液で手指を消毒する。
- ・ 備え付けの簡易体温計（又は正確体温計）で体温測定をする。
(37.5度以上の場合は、脇の下で正確体温測定をしてください。)
⇒ 37.5度以上の場合は、レッスンをお断りします。
- ・ チェックリストに、必要事項を記入する。

<講師>

- ・ 入室時は、生徒の手順と同じ。
- ・ ゴーグルの着用（講師判断による）
- ・ 1レッスン毎に、手指を消毒する。

- ・1レッスン毎に、鍵盤の拭きとり（紙ナプキン）をする。
- ・その他、感染防止に必要な場合は、都度実施する

<教室全体>

- ・3月7日までに、全教室の除菌・清掃を実施する。
- ・常時、50%以上の湿度を保つよう加湿する。
- ・オゾン発生器（空気清浄機の除菌機能含む）など、一般的に有効とされる機器を稼働し除菌する。
- ・身体に触れる遊具や装飾備品などを撤去し、感染源への接触機会を減らす。
- ・複数個所（教室内、トイレ、講師控室など）にアルコール消毒スプレーを設置し、適宜 利用できるようにする。
- ・使い捨て手袋を設置し、適宜 利用できるようにする。

<管理者としての対応>

- ・その日のレッスン終了後、ドアノブや鍵盤、その他接触機会のある場所を除菌清掃する。
- ・講師とのホットラインを設け、緊急時の対応に備える。
- ・その他、感染予防に必要な あらゆる措置を講じる場合があります。

4. 今後について

急激に変化する社会情勢の中、教室としての明確な方針をご提示することは困難な状況となっております。現時点では、1～3の対策に加え、更なる安全衛生環境構築のための現実的な対策を実施していくことで感染リスクを最小限とし、レッスンを行っていく考えです。

<お願い>

当教室では、生徒や講師・関係者の安全安心を第一に考え、大手一般企業に比しても劣ることのないリスク管理システムを導入しております。今回のコロナウイルスの脅威に対しても、早い段階から準備を進めておりました。その結果、教室で使用する十分な量の消毒用アルコールや消毒液（次亜塩素酸含有）、ゴム手袋、紙ナプキンなどを確保しており、また必要最低数ではありますがマスクもごさいます。その他、地震などの大規模災害への対応も順次進めており、医療機関や警察・消防との連携、必要品（水・食料・備品など）の備蓄などは既に完了しております。

今後も、教室として出来る限りの対応を実施して参りますが、**何よりも みなさまの感染予防と体調管理が重要**でございます。当教室にご縁をいただいている全ての方々に、安全安心の環境をご用意したいと強く思っておりますので、みなさまにもご理解ご協力いただけますよう、心からお願い申し上げます。

以上

レッスン開始に当たっての私の判断材料の一部をご案内します。

- ・当教室は個人レッスンのみである（同時に5人以上の濃厚接触の機会は ほぼ無い）。
- ・大手教室（学習塾含む）と比較しても、非常に高いレベルの衛生環境と仕組みが構築できている。（複数他社から、感染予防対策実施教室の参考事例として、意見聴取を受けました。）
- ・全入室者の特定と健康状態のチェックができる（信頼性の低い不特定多数の者は入室しない）。